JSCA 東北支部　40 周年記念行事・記念パーティー開催報告

40 周年記念事業実行委員長　高橋伸一

東北支部の設立 40 年を記念して、「JSCA 東北支部 40 周年記念行事」を下記にて開催致しました。

日時：令和 8 年 10 月 17 日（土）10:00～15:30

会場：東北学院大学土樋キャンパス 8 号館ホール

当日は正会員、賛助会員、一般（学生）含めて 75 名に参加頂き、盛大に記念行事を執り行いました。



（ 会場全体風景 ）

初めに成田支部長より開会挨拶がありました。本事業の記念誌発刊に御協力頂いた皆様へお礼を述べるとともに、本事業の開催意義についてお話し頂きました。



（ 成田支部長　開会挨拶 ）

続いて名誉会員である加藤重信 様より「JSCA 東北支部 40 年のあゆみ」と題して、これまでの東北支部の活動の足跡についてお話を頂きました。JSCA 東北支部が昭和 61 年に構造家懇談会東北支部として発足した経緯や目的・意義について説明があり、当時を知らない現会員の多くにとっては非常に興味深いものがありました。これまでの東北支部の活動内容や特に 2011 年に発生した東日本大震災における建物被害調査などの社会貢献活動についてお話を頂き、JSCA 会員として今後どういうモチベーションを持って活動していかなければならないか改めて考える契機になったものと思います。



（ 記念講演 風景 ）

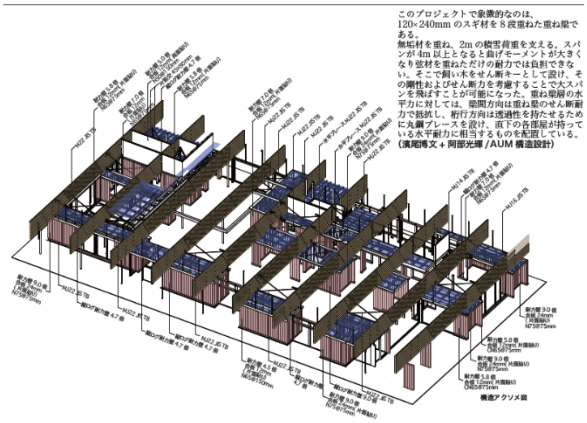
次に「はりゅうウッドスタジオ」代表の滑田崇志 様、斉藤光 様から記念講演として“大らかな合理性がつくる建築 ―構造・意匠・施工の共生態―”と題して講演を頂きました。おふたりは南会津を拠点として、これまでに木をいかした数多くの作品を手掛けてこられてきた気鋭の建築家であり、今回は意匠設計者の目線で講演を頂きました。これまで構造設計・施工会社と協業した中で、様々な課題を克服するための工夫や挑戦、そのプロセス



（ 記念講演 講師のおふたり）

を経て生み出された数多くの素晴らしい作品について説明を頂きました。実際に協業した構造設計者へのインタビュー動画も交えながら、優れた建物を実現するためには構造設計・施工との共生が大切であることをお話し頂き、構造設計者としてとても良い刺激を頂いたと確信しています。





きとね　みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション　（森の町と Pavillion）

昼休憩をはさんで、午後はパネルディスカッションを実施しました。「未来の構造設計が進む道～技術革新がもたらす未来像～」と題して、パネリストに滑田・斉藤様（はりゅうウッドスタジオ）、成田支部長（カメイエンジニアリング）、塩手 様（山下設計）、高岡 様（竹中工務店）、齊藤様（関・空間設計）の 6 名をお招きして討議を行いました。AI を中心とした技術革新が進む中で、構造設計者として守るべきことは何か、こうした革新技術をどう活用していくべきなのか、について活発な意見交換がなされました。我々が進むべき方向性を考える良いきっかけとなりました。



（ ディスカッション風景 ）



（ 塩手 様 ）



（ 高岡 様）



（ 齊藤 様 ）

記念行事の終了後、18 時より会場をイタリア料理店に移し 40 周年記念パーティーを執り行いました。今回の 40 周年記念誌に寄稿頂いた東北大学名誉教授 井上先生、東北大学教授 前田先生にも参加頂き総勢 51 名で開催しました。初めに本部の中塚副会長から挨拶と乾杯のご発声を頂いた後は、参加者全員で 40 周年を祝いながら楽しく歓談をすることが出来ました。

最後に本事業の開催にあたり御協力頂いた皆様に感謝申し上げます。



（ 中塚副会長 挨拶 ）

以　上